

## 準備委員会で出た意見のアウトプットへの反映について

委員のご意見		アウトプットへの反映等
第1回委員会 提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESD の表現方法に工夫が必要</li> <li>段階別に ESD を教えていく</li> </ul>	目標 1 ① 活動の方向性 ESD の理解を促進するためターゲットに合わせた情報発信の工夫 目標 2 の③ 活動の方向性 様々な機会をとらえて ESD の理解を促進する
	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な団体のネットワーク構築が必要</li> </ul>	目標 3 ①～③活動の方向性 重層的ネットワーク構築で 3 ケースを入れた
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学との連携が大切</li> </ul>	目標 2 ② 活動の方向性 地域 ESD 拠点形成・活動支援の対象として専門家を入れた
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくりの活動と経済活動との連携を検討</li> </ul>	目標 5 活動の方向性 多面的支援の仕組みを検討することとした
第2回委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流、伝統文化、自然への畏敬の念を示す風俗慣習等は九州の ESD 特性で良いのではないか</li> </ul>	九州・沖縄地方の ESD 推進上の特性として整理に入れた
	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代に続く活動の掘り起こしに取り組むべき</li> </ul>	重点取組である地域の ESD 活動の把握の対象に風俗慣習、民俗芸能、民俗技術等を含めた
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESD の認知度向上は、ESD の理解、浸透とすべき</li> </ul>	目標 1 ①、目標 2 の③ 活動の方向性 「ESD の理解を促進する」に修正
	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な ESD の取組において、行政との連携が必要。行政との関与を強化すべき。</li> </ul>	目標 2 ①、目標 3 ④ 活動の方向性 具体的支援策を検討する場に「行政関係者」を入れた
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラムサール条約登録湿地等、世界基準の地域づくりの仕組みがある地域を先進的取組として取り上げるべきではないか</li> </ul>	九州・沖縄地方における先進的、先導的事例として入れた
	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方センターの活動の対象 (ESD の範囲) はどうするか</li> </ul>	分野は明記していないが、地域ぐるみの ESD 活動を推進することを基本的考え方とし、先進的取組や ESD 推進上の特性を有する地域の活動団体等を対象とすることで、ターゲットを示した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標 1 ②の活動の方向性の ESD 活動の資料の整備について、「資料」は「教材」が適切でないか。</li> </ul>	「教材」に修正	

地方センターに期待すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等に必要の人材を派遣できる仕組みを整える</li> <li>・人材バンク機能の充実</li> </ul>	<p>目標 1 ②、目標 4 ① 活動の方向性</p> <p>講師の紹介、派遣制度の構築</p> <p>人材発掘に取り組む</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と民間企業等が環境づくり、経済・生業づくり、人づくりに取り組んでいる（先進的、先導的取組）</li> <li>地域とのネットワークの形成</li> </ul>	<p>先進的、先導的取組の事例を明記するとともに他地域への波及の必要を記載</p> <p>目標 2 ② 活動の方向性</p> <p>先進的、先導的取組の団体等を地域 ESD 拠点形成、ネットワーク形成の重点対象とした。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修プログラムに対する助言など</li> </ul>	<p>目標 1 ② 活動の方向性</p> <p>プログラム・教材の整備、講師の紹介・派遣制度の構築</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の連携だけでなく行動の連携を図ること</li> </ul>	<p>地域 ESD 拠点との連携において、拠点の連携と行動を引き出すよう記載した。</p>